

契約締結後拾日以内ニ証據金・入金通知書到達セザル時ニ應御照會  
相煩度候

500

500



證

海野捐大、殿

振入印

# 愛國商事株式會社出資證券

大日本帝國政府發行公債證券  
大藏省與貯蓄債券  
日本勸業銀行附保債券  
附證保券債

## 金五百圓

本證券裏面、契約々款御承認  
、上上記金額、出資契約(五拾口  
ヲ締結シ本日證據金トシテ  
金五拾圓也正ニ領收候依而本  
證券交附候也 但出資完了  
、上、右證據金ハ返還可申候  
尚本契約ニ依ル出資金御拂込ニ  
對シテハ金額ニ應ジ同額面、債券  
又ハ公債ヲ其ノ保証見返リトシテ  
貴殿、手許ニ預ケ置キ其ノ債券當  
藏シタル時其ノ割増金ハ貴殿、所  
得タル事ヲ確約候  
追而出資完了滿參、年ヲ經過後  
ハ御希望ニ依リ本證書並ニ保證見  
返債券ト引換ニ出資金全額ヲ返還ス  
本契約者ニ對シ約款ニ基キ每期純  
益金ノ五割ヲ配當ス

証券番號  
第 627 號



愛國商事株式會社  
社長  
海野 大、殿

昭和七年二月二十七日

本證ハ證據金額收及出資證券以外ニ使用スルモ本社其責ニ任ゼズ  
文字ノ加除訂正ハ無効トス



約 款

第一條 當會社ハ有價証券賣買並ニ担保貸付ヲ營ムヲ以テ主タル目的トス  
第二條 當會社ハ商法第二百九十七條乃至第三百四條ノ規定ニ基キ組合契約ヲ締結シ當社之ガ營業主  
タルモノトス

第三條 組合員ノ出資額ハ一口ヲ金拾圓トシ拾口券、貳拾口券、參拾口券、五拾口券、壹百口券、參  
百口券、五百口券ノ七種ニ便宜上頒ツモ都合上幾口ニテモ申込ム事ヲ得 出資金ノ拂込ハ一  
時拂トス 但シ數口以上ノ出資豫約ハ組合員ノ都合上壹口以上ヲ以テ任意拂込ミナス事ヲ得

第四條 組合員ハ本約款ヲ承認ノ上ハ所定ノ出資契約申込書ニ記名捺印ノ上出資額ノ壹割ニ相當  
スル証據金ヲ添ヘ申込マル可シ當社ハ規定ノ出資証券ヲ交付ス  
証據金ハ出資契約完了ト同時ニ別ニ現金ニテ返還ス 但利子ヲ附セズ

第五條 出資金一口拂込ニ對シ額面拾圓ノ日本勸業銀行發行勸業債券(割引債券ハ賣出價格ニヨル)及  
復興貯蓄債券ヲ出資ノ見返保証トシテ組合員ノ保管ニ任ズルモノトス 但五口、拾口等ノ一  
時拂込ノ場合ハ希望ニ依リ公債ヲ以テ其ノ見返保証トナス事モ得保証ノ債券並ニ公債ハ當社  
ノ任意選擇ニ依ルモノトス

第六條 組合員ニ於テ都合上必要アル場合保管債券ヲ他ニ利用ナストモ差支ヘナキモノトス  
組合員ニ於テ保管中ノ債券ニ當籤シタルトキハ其ノ割増金ハ全部組合員ノ所得トス 但壹等  
當籤ノ場合ニ限リ其ノ壹割ヲ當社ニ納附スルモノトス此ノ場合ハ直ニ同額面ノ債券ト交換ス  
ルモノトス 公債ノ當籤償還ヲ受ケタルトキ又同ジ

第七條 當社ノ決算期ハ毎年拾貳月壹日ニ始リ翌拾壹月末日迄ヲ一期トシ當期中ニ得タル純利益金ノ  
五割ヲ契約出資完了シタル組合員ニ配當スルモノトス 組合員ハ營業年度ノ終リニ於テ營業  
時間内ニ限リ財産目錄及貸借對照表ノ閱覽ヲ爲ス事ヲ得

第八條 契約解除希望ノ組合員ニ對シテハ何時ニテモ申出ニヨリ出資金全額ヲ返還ス 但出資契約額  
ノ百分ノ十五ヲ手数料トシテ控除シ殘額ヲ保管債券並ニ契約証券ト引換ニ返還スルモノトス  
保管債券ノ利札ハ便宜組合員ニ於テ支拂ヲ受ケ置クハ差支ヘナキモ解約ノ場合ハ控除精算ス  
ルモノトス

第九條 契約出資完了後滿參ケ年經過シタル組合員ノ契約解除ニ對シテハ手数料ヲ控除セザルモノトス  
出資金ノ拂込ハ本社ヘ直接送附スルモノトス 但希望ニ依リ集金郵便ヲ以テナス事ヲ得

第十條 本社所在地並ニ支店出張所代理店ノ設置アル場合ハ希望ニヨリ保管債券引換ニ當社指定ノ集  
金員ニ拂込ミナス事モ得右ノ方法以外ノ拂込ニ付テハ當社一切其ノ責ニ任ゼズ

第十一條 引續キ參ケ月以上拂込ナク當社ヨリ照會ニ及ブモ何等回答ナク尙參ケ月以上ニ及ビタルトキ  
ハ解約ノ意志ト見做シ整理ヲ行フコトアルベシ

第十二條 本契約ニヨル組合員ノ有スル一切ノ權利ハ相續以外當社ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ之ヲ他ニ讓  
渡又ハ委任等ナス事ヲ得ズ

第十三條 本約款ニ規定ナキ事項ハ總テ商法ノ條項ニ基キ處理スルモノトス  
組合員ガ住所姓名印鑑等ヲ變更シタルトキハ即時當社ニ届出ズルモノトス

名古屋市中區大池町五丁目二十四番地

愛國商事株式會社

電話南局〇二一九三番  
振替口座名古屋八九八二番